

やよい、絆 28

第14号

令和4年6月

弥生町会連合会広報



写真：竣工間近な泉野福祉健康センター(福祉健康局より写真とコメントをいただきました)

新しい泉野福祉健康センターでは、これまで1階と3階に分かれていた福祉健康センターと市民センターの窓口を1階に集約し、利便性の向上を図ります。また、2階は、健診エリアとなっており、災害発生時には医療救護所として活用していきます。3階には、新たに健康スタジオを設け、フレイル予防のための各種教室を開催するほか、健康づくりの活動を行っている市民団体などにも開放することとしています。同じく3階に設けることも広場には、親子で木のぬくもりを感じていただける空間として木育スペースを設け、木製の遊具などを配置していきます。新センターの供用開始は8月を予定しており、今後、駐車場などの外構工事を進めていくこととしております。町会の皆様には、引き続き、ご不便・ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしく申し上げます。

金沢市福祉健康局健康政策課

弥生今と昔 泉小・泉中全工事完成に今思うこと

テレビの昭和30年代、40年代を舞台とした朝ドラを大変懐かしく楽しく見ています。当時の金沢の風景を思い出すと、住宅街の道路は未舗装で穴だらけ、冬の朝、暖房の練炭の灰でその穴を埋めませんが、雨が降るとその水たまりを車のタイヤが跳ね、急いで逃げるが逃げきれず、ズボンを濡らし舌打ちしたことを思い出します。

市電が走り、片町の通りは低層の小規模ビルの店舗が並び、香林坊の交差点ではおまわりさんの手信号の交通整理が行われていました。家庭には当然今のような冷暖房の設備は無く、夏の夜は道路や玄関、庭に打ち水をし、すだれを吊るし、窓を開け放ち蚊帳を吊り、団扇で涼をとりながら寝ると、ゆったり時間が過ぎる心豊かな時代でした。

戦後復興高度成長の掛け声、国民の勤勉努力で、日本は非常に豊かな国になりました。

しかし地球温暖化が進み、干ばつによる農作物不作、雨が降れば大雨洪水で河川が氾濫、台風は超大型化、地震、火山爆発も全国的に頻発し、ひと昔前までは考えもしなかった大災害に常に準備を怠ってはならない状況です。

10年の歳月を要した泉小・泉中改築工事が今年3月完成しました。子供たちの素晴らしい学び舎は、大災害時には耐震化、再整備された弥生地区の防災拠点となります。この防災拠点が利用されることは望ましいことではありませんが、心の余裕が生まれました。

自然はそのようなことに関係なく、今年も桜公園、泉小・泉中改築工事で完成した校舎外周の遊歩道の桜は、いつにもましてきれいな満開の花を咲かせました。

いつまでもこのような素晴らしい自然・季節が続く弥生地区を祈りたいものです。

編集子

弥生小学校・泉中学校 改築促進期成同盟会の解散にあたって

平成 24 年 5 月に相川久嗣弥生校下町会連合会会長（当時）を会長にいただき標記期成同盟会が発足して 5 年が経過した平成 29 年 6 月に期成同盟会会長を引き継いだ私は弥生町会連合会会長の大橋信喜美ですが、泉小・泉中の改築工事の全工程が終了し、本期成同盟会の初期の目的が達成され、本期成同盟会の解散を迎えるにあたってご挨拶申し上げます。

5 年前と云えば泉小・泉中の校舎竣工を迎え、残余の工程は泉中体育施設の建設と泉小・泉中のグラウンド整備だけという段階でありました。その間、前会長相川久嗣氏におかれては並々ならぬ情熱をもって、地元住民の意見取りまとめ、野町小との統合に関して市教委並びに野町校下との意見調整、統合同意書の調印、校舎改築の早期実現のための市当局への陳情 等々に絶大のご尽力をいただきましたこと、心より敬意を表するとともに感謝申し上げます次第です。

あとを引き継いだ私の役割は、さしずめ残務整理といったところだったでしょうか。皆様のご協力のおかげをもちまして、無事に役目を果たすことが出来ました。本当にいろいろ有難うございました。

立派な施設内容と云い、ほぼ 5 万 3 千㎡の広大な敷地と云い、まさに、「文教地区 弥生」のシンボルに相応しい学び舎が出来上がりましたことの喜びを地域の皆様とともに分かち合いたいと思います。このうえは、このすばらしい学び舎のもとで児童生徒達が伸び伸びと学び、成長してゆけるよう静かに見守りつつ、かつての石川県師範学校敷地の上に立つこの「学び舎」こそ、世界的に著名な天文学者・木村榮博士の生誕地や泉野図書館等の文教的施設を地域内に有する「文教地区 弥生」の宝として、皆様とともに末永く大切にしていきたいと思いますところでは。

期成同盟会の解散にあたり「弥生小（泉小）・泉中改築促進期成同盟会とともに歩んだ歲月」という手作りの小冊子の一部関係者にお配り致しました。弥生町会連合会のホームページにも掲載していますが、本誌にはその中の当該文書と期成同盟会の歩みの概略のみを掲載させていただきました。

皆様の来し方をたどる縁（よすが）になれば幸いに存じます。

末筆となりましたが、学校改築の件を案じつつ期成同盟会発足の準備を進めるよう病床から指示を出しながら、平成 23 年 12 月、志半ばにて天界へと旅立たれた 故 中井伸二弥生校下町会連合会会長（当時）の御霊に、本小品を謹んで奉げさせていただきたく存じます。

令和 4 年 3 月吉日








弥生町会連合会

会長 大橋 信喜美

泉小学校・泉中学校 改築の歩み

平成24年 5月10日	弥生小学校・泉中学校改築期成同盟会の発足	会長に相川久嗣氏 注：旧弥生小・泉中は昭和35年に建設
平成24年 6月28日	期成同盟会役員 弥生小・泉中改築促進を市に陳情	
平成25年 6月6日	期成同盟会 弥生小と野町小の統合に合意	
平成25年 6月24日	弥生小学校・野町小学校の統合へ調印	
平成25年 8月1日	第1回野町小学校・弥生小学校統合協議会の開催	
平成26年11月6日	弥生小・野町小統合校の名称は「泉小学校」に決定	
平成26年 3月13日	泉小学校の校章が決定 泉小学校の校歌が完成	
平成26年 3月28日	弥生小学校閉校記念式典 (於旧弥生小学校体育館)	閉校記念実行委員会 会長相川町連会長
平成26年 4月4日	泉小学校開校記念式典 (於泉小学校(旧野町小学校)体育館)	金沢市・ 金沢市教育委員会主催
平成26年 5月22日	泉小学校開校記念祝賀会 於金沢エクセルホテル東急	
平成26年 6月2日	第1回泉小学校・泉中学校建設連絡会の開催	
平成27年10月11日	泉小・泉中校舎建設起工式	
平成27年12月25日	金沢大学弥生地区用地の譲渡に関する基本合意書の締結	
平成29年 3月26日	泉小・泉中新校舎内見会	
平成29年 4月23日	泉小学校・泉中学校竣工記念式 泉小学校・泉中学校竣工記念祝賀会 於金沢東急ホテル	
令和2年 3月	泉中学校体育館・テニスコートの完成	
令和2年11月21日	泉中学校 新体育館見学会	
令和3年 6月18日	新校舎を背にソメイヨシノの若木を植樹	
令和4年 3月9日	泉小・泉中のグラウンド整備工事の完了	
	泉小学校・泉中学校改築全工事の完了	

令和4年度 町会役員一覧

No.	1	2	3	4	5	6	7
町会名	泉町交友会	泉新町第一町会	泉新町第二町会	泉旭町一丁目町会	泉旭町二丁目東部町会	泉旭町二丁目西部町会	泉旭町三丁目町会
世帯数	125	50	48	85	80	36	85
町会長	 寺分 重喜	 宮下 勉	 中田 和成	 遠藤 和宏	 安藤 利得	 浅島 雄一	 荒井 英則
副会長	深井 忠正 高山 正規	太田 清佳 上出 栄一 小村友美恵	中村 勉	黒田 真吾 山越 将之	千田行一路	木村由美子	明翫 敏信
会計	堀 陽一	剛谷 佳克	野口 浩明	村本 義和	重田 健介	市村 達也	酒井 康貴

No.	8	9	10	11	12	13	14
町会名	生和会	富樫町会	泉が丘致芳会	泉が丘愛香会	弥生が丘町会	弥生が丘南町会	東部弥生町会
世帯数	162	103	250	121	149	35	77
町会長	 素谷 宏	 山口 嘉則	 山田 達雄	 中村由紀子	 桑島 秀幸	 秋田 一成	 広谷 耕作
副会長	井口伸一郎 土田 誠人	東 正博	宇罗 裕基 阿慈知和幸	出口 正和	吉田 茂	一丸 直人	畠山 知明
会計	藤田 彰照	梶 均	村井美由紀 柴田 政秋 相田 宏治	大久保雅之	西尾 節子	和泉 克秀	藤本 瑛子

No.	15	16	17	18	20	21	22
町会名	中部弥生町会	弥生上丁町会	弥生第一町会	芦中町町会	六斗林一丁目親誠会	有松町会	泉野町三丁目町会
世帯数	33	42	41	71	54	29	400
町会長	 大門 泰治	 鏡 幸彦	 竹越 章	 端保 誠二	 藤沢 学	 河 和彦	 大森 信夫
副会長	北川絵理美	江間 肇	中浜 正人	石江 睦美	二口 昌弘	水野 正人	杉林 秀晃
会計	大門 泰治	横山 英樹	松本 修子	森田 和延	二口 慶一	米尾 章浩	八田起世子

No.	23	24	25	26	27	28	29
町会名	南が丘町会	泉が丘平成会	泉が丘親成会	エスト泉が丘町会	泉が丘竹の子町会	泉が丘さくら町会	泉野図書館前町会
世帯数	66	56	55	30	23	40	20
町会長	 古畑 徹	 木下 秀友	 森 一洋	 本多 正	 卜部 紀子	 春日 智子	 山本 陽介
副会長	東野外美男 横田 貞昭	武部 三雄	中村 充宏		高桑 徹	佐藤 俊作	吉村聡太郎
会計	小森 勲	由井 邦子	武部 佳太	和泉 聡	谷藤 恵子	橋本 洋子	松本 晶子

令和4年度弥生各種団体等役員

弥生町会連合会

会 長	大橋信喜美	泉野町三丁目	理 事	額谷 仁	六斗林一丁目親誠会
副 会 長	寺分 重喜	泉町交友会	理 事	中村 昇	泉野町三丁目
副 会 長	本多 正	エスト泉が丘	会 計 監 査	島田 和夫	泉旭町三丁目
理 事	森田 憲	弥生上丁	会 計 監 査	山田 信行	泉が丘竹の子
事 務 局	谷内 昌子	泉新町第一			

弥生防犯委員会

委 員 長	大館勇喜夫	六斗林一丁目親誠会	理 事	柳瀬 博志	富樫
副 委 員 長	脇坂 昌芳	泉旭町二丁目東部	理 事	濱下 博行	弥生が丘南
会 計	虎本 正敏	弥生が丘	理 事	高井 博之	六斗林一丁目親誠会
理 事	北 三代至	泉町交友会	監 事	真田 哲	弥生が丘
理 事	鶴見 正樹	泉旭町三丁目	監 事	南 孝嗣	泉野町三丁目
理 事	廣畑 泰之	生和会			

弥生自主防災会

会 長	大橋信喜美	泉野町三丁目	防災士・総務	棒田 美枝	泉野町三丁目
副会長・防災士	本多 正	エスト泉が丘	防 災 士	高木 英美	泉町交友会
副会長・防災士	森 博幸	生和会	協働連絡委員	佐藤 俊作	泉が丘さくら
防 災 士	宝田 喜作	泉新町第二	協働連絡委員	大館勇喜夫	六斗林一丁目親誠会
防災士・総務	河合 睦	弥生公民館主事	総 務	谷内 昌子	泉新町第一
防 災 士	村田 昌代	中部弥生	会 計	東 晴美	泉野町三丁目
防災士・総務	有松由美子	泉新町第二	監 事	中村 昇	泉野町三丁目
防 災 士	渡邊 浩志	東部弥生			

弥生地区連合長寿会

会 長	中田 邦雄	泉旭町一丁目	理 事	吉谷 秀昭	泉町交友会
理 事	大橋信喜美	泉野町三丁目	理 事	武部 善明	泉が丘致芳会
理 事	村西 光男	弥生第一	会 計	高田 輝信	泉旭町二丁目東部
理 事	石田 善松	生和会	監 事	中山 一郎	富樫

金沢中街頭交通推進隊弥生支隊

支 隊 長	海道 正人	泉町交友会	隊 員	東 正美	泉旭町二丁目東部
隊 員	小泉 章一	東部弥生	隊 員	水巻 啓光	生和会

弥生少年連盟育成委員会

委 員 長	村田宗一郎	泉旭町二丁目西部	書 記	石野美加子	泉野町三丁目
副 委 員 長	渡邊 浩志	東部弥生	会 計 監 査	吉見江里子	泉が丘致芳会
副 委 員 長	黒田 真吾	泉旭町一丁目	会 計 監 査	岩井 直美	弥生上丁
副 委 員 長	助田外志成	泉が丘致芳会	理 事	宝田 喜作	泉新町第二
副 委 員 長	田辺 順子	生和会	理 事	沼田 聡一	生和会
会 計	西村 亜紀	中部弥生	理 事	山本 悦子	泉野町三丁目
会 計	吉田麻優美	泉新町第二	理 事	苗代真由美	弥生が丘南

弥生婦人防火クラブ

委 員 長	成出 浩子	泉旭町二丁目東部	副 委 員 長	三国 範子	泉新町第一
-------	-------	----------	---------	-------	-------

弥生校下赤十字奉仕団

委 員 長	石田 善松	生和会	副 委 員 長	東 晴美	泉野町三丁目
-------	-------	-----	---------	------	--------

(令和4年4月現在)

自主防災会だより

自主防災会 森 博幸

昨年度も日本列島各地、地震が頻発し、大雨・台風被害も多く発生しています。

この金沢弥生地区も真下に活断層が走っており、今の科学では予知は不可能ですから、いつ大災害が牙を剥くかもわかりません。弥生町会連合会では、1997（平成9年）年弥生自主防災会を立ち上げ「大災害が起きた時の住民主体の支援組織づくり」に取り組んできました。

今年（令和4年）3月、泉小学校・泉中学校全工事が完了、名実とも地域の安全の拠点となりました。今回自主防災会より、大災害発生に対して日頃の準備心得、大災害が発生した時の行動について、一問一答の形式で記しましたので参考にしてください。

問 泉小体育館（約 800㎡）は拠点避難所、泉中体育館（約 2000㎡）は指定避難所となっていますが、拠点避難所、指定避難所とはどのような違いがあるのでしょうか。

答 拠点避難所は弥生自主防災会の本部が設置され、金沢市災害対策本部との連絡や物資支援の窓口となります。被災者の一時的な生活の場ともなります。指定避難所は被災者の一時的な生活の場ですが、被災者同士で協力し避難所の運営を行います。

弥生地区は幸い両方ありますが金沢市では小学校校区（地区）単位で活動しています。拠点避難場所は泉小、指定避難所が泉中や公民館、図書館などとなります。金沢市の中では、中学校がない地区、高校がある地区と様々です。

問 昨年度のやよい絆 28（13号）に「コロナ禍における災害時の避難行動ガイドライン」が記載されています。今後しばらくの間コロナ対応が必要となりますから、大災害の発生状況にもよりますが、弥生地区の総人数を考えると泉小・泉中の避難所収容人数では対応が十分でないことも考えられます。どのような人が収容の対象になるのでしょうか。避難者の先着順でしょうか。

答 当然、地区全員のスペースはありません。さらに校区外の人でも沢山避難されると思います。先着順とはなりますが、防災会の判断で移動をお願いする事になります。災害時要援護者が優先されます。あとは車中避難や住宅の倒壊の恐れのない人は自宅避難（支援物資のみ受取）となります。

問 大災害対応について「自助、共助、公助」がいわれております。大災害発生時、公助の立場で任務に当たる人たち（役所、消防署、自衛隊等）も同じように、被災を受けます。共助の立場で避難所運営に当たる人たち（弥生自主防災会）も当然大被災を受けます。公助、共助の比較的被災が軽かった人たちが、避難所の応援に駆け付けるのだと思いますが、大災害発生、即、避難所開設とはならないと思います。実際はどのような様になるのでしょうか。

答 混乱が予想されますが、できることしかできません。知らないことも出来ません。日頃から、自分でシュミレーションする、備える事が自助7割という事だと思います。当然、避難者全員で、避難所を運営していく事になります。

問 自助7割、共助2割、公助1割といわれています。大災害発生時に関わらずいつもこの考えで準備・対応することが必要ではないかと思いますがいかがでしょうか。

答 平常時に、自分で備える、考える、確かめる事が大切です。

問 泉小、泉中に弥生自主防災会の備蓄倉庫が設置されているときいています。食料、生活用品等が備蓄されていると思いますが、どのようなものが備蓄されているのでしょうか。又、仮に避難所に収容人数定員一杯収容した時、どのくらいの日数対応できるのでしょうか。住民は避難所に行けばともかく何とかできるのではという気持ちの人もいるのではないのでしょうか。日頃各自宅で大災害に対して準備対応の心構えが必要だと思います。避難所に行くとしても、各人食料、生活用品持参する必要があると思いますが、どのようなものを準備しておくことが必要ですか。食料は何日分準備しておくのが望ましいでしょうか。

答 防災倉庫の物資は若干しかありません。全員に行き渡る数はありません。故に水、食料は持参する必要があります。飲料水1人1日3Lと言われているとおり。食料、生活用品も同じです。順位をつけるなら、命に関わる物、ないと困る物、あると便利な物の順番です。人により違うと思います。

問 大災害発生時避難所が開設されますが、その連絡は実際どのような手順で、各住民に伝えられるようになるのでしょうか。

答 緊急地震速報、小学校についている防災スピーカー あとテレビ、ラジオ、携帯電話でしょうか。大災害の時は範囲にもよりますが、本人の気づきが一番かもしれません。家族全員が揃っていない事も考えられます。日頃から家族会議をして、災害の時はどこに逃げるか、物資は誰が持って行くか、連絡手段などを是非話し合ってください。

令和4年度各町会の各種団体への負担金の納入について

令和3年度も令和2年度と同様にコロナウイルス蔓延が収まらず、町連、各種団体の多くの行事・活動が中止されました。この状況を踏まえ、町連理事会では昨年同様に各種団体の活動状況に応じて令和3年度の負担金を返還していただく事にしました。

1. 返還額の算定方法

野町消防分団、保護司会につきましては、コロナ禍のあっても活動は変わらないので返還を求めないこととしています。

その他の各種団体については、下記の表1に示すような令和3年度支出増減（見込み）額の申告に基づき、正味の支出減から、一世帯当たりの返還額を算出しました。

表1 各種団体の令和3年度支出増減（見込み）

コロナ禍のために行事等が中止されたことにより減少した支出の総額（A）	〇〇〇千円
代替事業・活動等により増加した支出の総額（B）	×××千円
正味の支出減（A－B）	△△△千円

弥生町連への負担金の中、一町会あたり3,000円は変更なしとする。

2. 令和4年度負担金額の算定

野町消防団、保護司会を除く各種団体から提出された支出増減表（表1）に記載された正味の支出減の金額を全世帯数で割り算した額が一世帯当たりの「当該団体からの返還額」となります。例えば町連の場合、返還額は220円となります。

実際の返還は、この金額を返還する代わりに「令和4年度の負担金納入額を調整すること」で行います。すなわち、令和4年度の納入額 = 正味の額 - 返還額 となります。

例えば、町連の場合は 600円 - 220円 = 380円となります。

弥生地区全ての各種団体について示したものが表2です。

表2 令和4年度弥生地区各種団体への負担金（単位：円）

	町連	公民館	防犯	推進隊	長寿会	育成	自主防災	福祉	保護司会	消防	合計
一世帯当たり	380	850	35	90	45	85	125	355	20	280	2,265
	(600)	(850)	(130)	(100)	(60)	(100)	(150)	(400)	(20)	(280)	(2690)
一町会当たり	3,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000

カッコ内の数値は正規の負担額（一世帯当たり）を示します。

従って、令和4年度の一町会当たりの負担金納入額は次の通りとなります。

一町会当たりの負担金の納入額 = 2,265円 × 世帯数 + 3,000円

なお、各世帯からの町会費を減額するか否かは、それぞれの町会の判断に委ねることを町会長会議で申し合わせております。

年間行事

令和3年度 行事報告

<令和3年>

- 4月23日 令和3年度弥生町会連合会総会
- 5月30日 春の全市一斉美化清掃
- 5月30日 雀谷川河川清掃
- 6月25日 広報「やよい絆 28」第13号発行
- 9月14日 特 泉町交友会（獅子舞と太鼓と踊りの夕べ）
- 9月22日 特 泉町交友会獅子頭飾り（泉八幡神社）
- 9月22日 特 獅子舞（国造神社）
（泉新町第一町会 泉新町第二町会）
- 10月17日 秋の全市一斉美化清掃
- 10月31日 金沢マラソン

<令和4年>

- 1月9日 公 弥生成人式（日航ホテル）
- 1月14日 特 泉町交友会特区事業「獅子舞」
泉中1年生対象に「伝統芸能体験授業」
- 3月22日 特 泉町交友会特区事業「獅子舞」
泉小3年生対象に「伝統芸能体験授業」

特：特区事業 公：公民館主催行事

令和4年度 行事案内

<令和4年>

- 4月22日 令和4年度弥生町会連合会総会
- 5月29日 春の全市一斉美化清掃
- 5月29日 雀谷川河川清掃
- 6月 雀谷川ホテル観賞会
- 6月24日 広報「やよい絆 28」第14号発行
- 9月 特 泉町交友会
獅子舞と太鼓と踊りの夕べ
- 9月 特 泉町交友会獅子頭飾り
（泉八幡神社）
- 9月 特 獅子舞（国造神社）
（泉新町第一町会 泉新町第二町会）
- 9月 特 泉が丘致芳会獅子頭飾り
（地黄八幡神社）
- 10月2日 社会体育大会
- 10月 秋の全市一斉美化清掃
- 10月30日 金沢マラソン
- 11月 弥生自主防災訓練

<令和5年>

- 1月9日 公 弥生・野町 合同成人式
（東急ホテル）
- 1月 弥生新年互例会（金沢国際ホテル）

編集後記

今年3月泉小・泉中のグラウンド整備工事が完了し全工事が終了しました。金沢大学の旧寮用地を含み広大な学び舎となりました。敷地周辺には遊歩道も整備され、桜並木も残されて、まさに文教地区・弥生にふさわしい環境整備がなされました。

10年の長きにわたり活動をされた改築促進期成同盟会の関係者皆様のご努力の賜と感謝しています。この素晴らしい環境で育った若人が健全で活躍されることを祈るとともに期待しています。

今年も「やよい絆 28 第14号」無事発行することが出来ました。来年度は節目の発行15年目を迎えます。編集子として弥生町連の広報誌はどのような姿が望ましいか、皆様のご意見をお待ちしています。事務局にご連絡よろしくお願致します。

「やよい絆 28」第14号
令和4年6月

発行
弥生町会連合会

金沢市弥生 1-29-13
TEL 241-5201
FAX 236-2237